

・シュネルマイスター

父：欧州型ダンチヒ系「キングマン」

母父：欧州型サドラーズ系

祖母父：欧州型グレイソヴリン系

ドイツ牝系で、母はドイツオークス馬。

また、牝系ファミリーには、サラキア・サリオス姉弟がおり、距離適性はマイル以上の距離にある牝系でございます。

ただ、父キングマンはダンチヒ系インビシブルスピリットの産駒で、インビシブルスピリット産駒は、勝ち星の65%が1200m戦と言う、生粋のスプリント血統になります。

キングマン自身は、現役時代に欧州のマイルG1を4勝。産駒の距離成績は、1200mと1600mに良績が集中しており、距離短縮ローテを非常に得意とする傾向が見受けられます。

今回の課題は、2F短縮になる初めてのスプリント戦がどうか？

もともとマイル戦でも先行出来ないタイプなので、今回は恐らく後方からの競馬になるのではないかと想像します。

しかしながら、NHKマイルで「前半3F33秒台」の流れを中団後方から上り2位の末脚で差し切ったあたりを考慮すれば、血統の字面通りに後傾ラップの消耗戦に向いていそうでもありますな。

快速逃げ馬テイムスパーダのペースになれば消耗戦は必至であり、そうなると「サンデー系の血」を一滴も持っていない事が、非常に有利に働く可能性は十分にあると考えても差し支えございませんでしょう。

- ・メイケイエール
- ・ナムラクレア

ミッキーアイル産駒 芝1200 場所別成績の偏り					
場所	出走数	出走数シェア	1着数シェア	3着内数シェア	賞金シェア
札幌	22	10.8%	5.3%	9.4%	5.6%
函館	25	12.3%	15.8%	15.1%	14.0%
福島	23	11.3%	15.8%	13.2%	5.6%
新潟	17	8.3%	0.0%	5.7%	2.0%
中山	16	7.8%	0.0%	3.8%	6.5%
中京	16	7.8%	10.5%	7.5%	26.2%
阪神	10	4.9%	5.3%	3.8%	3.0%
小倉	74	36.3%	47.4%	41.5%	37.2%

赤文字は、出走数シェアよりも多く馬券になっている事を示します。  
 言いかえますと、「得意～苦手ではない」コースであることを意味しております。

ミッキーアイル産駒が苦手とするコースは・・・

3角～4角の角度が大きく、直線までの減速幅が小さい「札幌」  
 3角～4角がスパイラルカーブであるため減速幅が小さい「新潟」  
 下りスタートで3角の角度が大きく4角まで速度が落ちない「中山」

つまり、ミッキーアイル産駒は、道中で息が入りにくいコース形態の  
 1200mには向いていないという事が伺えます。

今年のスプリンターズSでは、ミッキーアイル産駒  
 2頭が上位人気を形成しそうな気配でございますが、  
 テイエムスパードのペース(超ハイペース)になった場合、  
 余程軽い「超高速馬場」にでもならない限り、直線半ばで  
 息が上がるシーンも十分に考えられると妄想中でございます。

・ウインマーベル

父:米国型フォーティナー系「アイルハヴアナザー」

母父:Pサンデー系「フジキセキ」

祖母父:欧州型ノーザンダンサー系「ニジンスキー」

アイルハヴアナザーは、米国の平坦小回りで育まれたケンタッキーダービー馬でございますな。

日本の芝1200mでは、函館・福島・小倉と言った平坦小回りを得意としております。

ただ、フォーティナー系はスプリンターズSに相性が良く母父のフジキセキも、産駒から当レースの勝ち馬を出しております。

祖母が当レースのスパイス血統のひとつであるニジンスキーの直仔でもあり、完全無視は危険かと存じます。

・ジャンダルム

父:米国型サドラーズ系「キトゥンズジョイ」

母父:サンデーサイレンス

祖母父:米国型ノーザンダンサー系「ダンチヒ」

父のキトゥンズジョイは米国のマイラーでございました。産駒も同様にマイルが最適距離で、芝1200m経験があるのは本馬のみでございますな。

母のビリーヴが名スプリンターで、春秋スプリントG1を連覇。ただ、どちらも馬場改修工事前のコースでの結果であり、鵜呑みにするには少し勇気がいるところでございます。

祖母が当レースのスパイス血統のひとつであるダンチヒの直仔であり、当コースの重賞オーシャンSでは、後の高松宮記念馬ナランフレグの追撃に耐えて優勝しておりますれば、半信半疑ながらも一応の押さえは必要かもしれませぬ。

・タイセイビジョン

父：欧州型ノーザンダンサー系「タートルボウル」

母父：Tサンデー系「スペシャルウイーク」

祖母父：欧州型キングマンボ系「エルコンドルパサー」

タートルボウル産駒は、中山・阪神の1200mが得意ですな。

3走前の当コース OP 特別「春雷S」は、  
1着から6着まで「父が非サンデー系」が独占し、  
タートルボウル産駒のワンツー決着となりました。

つまり、サンデー系種牡馬産駒が力を発揮出来ないような  
展開や馬場状態で有利になりやすい傾向を持っているのだと  
考えられましょう。

母父スペシャルウイークはニジンスキー持ちで  
曾祖母の父はノーザンテーストと、当レースの  
スパイス血統を母系に内包している点も  
軽視出来ないポイントでございましょう。

・ダイアトニック

父：欧州型キングマンボ系「ロードカナロア」

母父：サンデーサイレンス

祖母父：欧州型リボー系「アレミロード」

ロードカナロアは、JRAの芝1200m重賞で  
非常に回収期待値が高い種牡馬でございします。

ただし、消耗戦にはあまり向いていない  
末脚が活きるような「主流条件」に適性が高く、  
厳しい流れのレースでは、母父も非サンデー系  
であることが理想的でございしますな。

ただ、本馬の場合は、距離短縮ローテが  
異常なまでに得意であり、当レースの好走ローテも

マイルからの距離短縮でございます。

また、本馬はリボーの血を、父方にも母方にも持っており大レースでは気を付けるべきであろうと考えております。

雨馬場は走れないので、良馬場前提で穴候補の一角に入れておきたいところでございます。

#### ・ナランフレグ

父：Dサンデー系ゴールドアリュール

母父：欧州型ロベルト系ブライアンズタイム

祖母父：欧州型グレイソヴリン系タマモクロス

ゴールドアリュール産駒としては芝1200mのG1優勝馬は異色の存在でございますな。

ただ、ゴールドアリュール産駒も、母父にブライアンズタイムを持つ馬も、芝1200mは中京が得意であり、中山は苦手ではないといったレベルでございます。

高松宮記念と同等以上のパフォーマンスは望みづらいかも知れませんな。

#### ・ファストフォース

父：欧州型キングマンボ系「ロードカナロア」

母父：欧州型プリンスリーギフト系「サクラバクシンオー」

祖母父：欧州型ダンチヒ系「デインヒル」

曾祖母父：欧州型ニジンスキー系「マルゼンスキー」

中山芝1200mでは理想的な母父が非サンデー系のロードカナロア産駒。母父サクラバクシンオーはスピードの持続力強化血統で、祖母父デインヒルは持久力を補完する、当レースの

スパイス血統ダンチヒ系でございます。  
また、曾祖母にニジンスキーもっており、  
消耗戦適性の高さが伺える母系の配合でございますな。

想定通りの大消耗戦になるようなら、  
サンデー系の血を持たない本馬には  
大きなチャンスとなるかも知れませぬ。